

部品情報編

G3 エレベーター改修

エレベーター		グループ分類 G 3-1
部品名称 BL階段室型共同住宅用エレベーター	改修用部品分類 階段室型共同住宅用エレベーター	

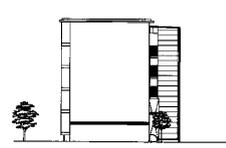


ポイント	昇降路建物(接続通路を含む)と機械室を不要としたエレベーターが一体となったエレベーター			
特色	<ul style="list-style-type: none"> ■階段室型共同住宅用エレベーター <ul style="list-style-type: none"> ・積載量 320kg、定員 4 名、速度 45m/min(30m/min) ・扉に防犯窓を標準装備 ・福祉に配慮した設計、かご手摺りの標準設置・操作盤をかご中央横型に配置 ・遠隔点検装置を標準装備による低メンテナンス料金 ■昇降路建物 <ul style="list-style-type: none"> ・工場組立方式による現場工期の短縮 ・現場における騒音、粉塵、塗装臭の低減 ・足場レスによる仮設工事範囲の縮小 ・昇降路設置面積が小さいコンパクト設計 			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・5階建て以下の既存階段室型共同住宅の階段室踊り場部分とエレベーター乗降口が接続される昇降路建物とロープ式エレベーター ・昇降路躯体は既存建物躯体と独立しており、既存住宅には荷重を掛けない構造 ・昇降路建物の基礎は、地盤により直接基礎あるいは杭基礎から選択 ・エレベーターは階段室型共同住宅用向け専用設計の機械室を必要としないロープ式エレベーター ・地震時管制運転装置、停電時自動着床装置、音声合成案内装置、光電管式扉反転装置など、その他のオプションを用意 			
	<table border="1"> <tr> <td>タイプ</td> <td>鉄骨造</td> <td>自立型</td> </tr> </table>	タイプ	鉄骨造	自立型
タイプ	鉄骨造	自立型		

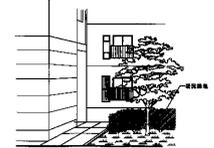
設置イメージ



既存建物立型イメージ



鉄骨製昇降路イメージ



7フロタイプ



部品概要	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>階段室型共同住宅用エレベーター</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>専用昇降路建物</p> </div> </div>
------	--

部品仕様	BL認定番号 BLELD010207 ■昇降路建物基本仕様 ・工法 工場組立方式 ・構造形式 既存建物と構造的に切り離された「自立型昇降路躯体」 ・構造種別 X方向：鉄骨造ラーメン Y方向：鉄骨造ラーメン ・昇降路寸法 間口 2010mm×奥行 2010mm（壁芯～壁芯） ・昇降路基準階面積 4.04㎡ ・住棟からの距離 3310mm ・階高 標準 2600mm ・基準風速V ₀ 36 m/sec ・地表面粗度区分 III ・外壁仕様 ALC板 t50(60分耐火) ・屋根仕様 折板 88 t0.6(30分耐火) ・接続床仕様 デッキプレート+コンクリート 80mm 既存共同住宅の階段室とは EXP.J により接続 ・基礎構造 直接基礎(地耐力 長期 50kN/㎡ 短期 100kN/㎡) または杭基礎 ・構造評価番号 CBL 部品評発第0025号	■エレベーター基本仕様 ・積載量、定員 320kg、4名 ・定格速度 45m/min(30m/min) ・駆動方式 トラクション式インバーター制御 ・電動機 三相誘導電動機、2.2kw ・運転方式 方向性乗合全自動方式 ・停止数 5ヶ所以下(両出入口)、4ヶ所以下(片出入口) ・オーバーヘッド 3200mm ・ピット深さ 1250mm ・昇降行程 13000mm 以下 ・ドア方式 2枚片引き戸(電動式)、網入り防犯窓ガラス付き ・かご内法 間口 900mm×奥行 1400mm×高さ 2100mm ・出入口寸法 間口 800mm×高さ 2000mm ・出入口数 5ヶ所以下 ・かご床仕様 鋼板に合成樹脂タイル貼り仕上げ ・敷居仕様 硬質アルミ製、ゴミ落とし穴付き
------	--	---

標準的な設置方法	  	基礎工事 既存住宅踊り場手摺り(腰壁)解体工事	昇降路建物場内搬入、現場取付け部材の組立 昇降路建て方工事、根回り施工	基礎部埋め戻し、外構復旧、連結通路接続工事 一次側電源引込み、仕上げ工事 エレベーター試運転・調整、検査、竣工
----------	---	----------------------------	--	---

設置条件等	1. 既存共同住宅との関係に配慮する ①階段室前の地形や外構、周囲環境などの条件を確認し、考慮した施工計画とすること ②既存共同住宅と昇降路との離れは、踊り場部では排煙上有効な開口がとれ、また1階部ではアプローチの有効寸法が確保できること 2. 基礎について検討を行う ①地盤調査を適切な方法により行い、エレベーター設置位置の地耐力が確かめられていること ②基礎に生じる長期及び短期の各応力を計算し、許容応力度を超えないことを確かめるとともに、基礎の底部に生じる応力度が地耐力を超えないことを確かめること ③既存共同住宅の基礎及び新設する昇降路建物が不同沈下を生じないことを確かめること ④直接基礎の設計に際しては、浮き上がりなどが生じないことを確認すること ⑤必要により地盤改良または杭基礎の検討をすること 3. 設置するための事前調査、検討を行う ①地中埋設物(給排水管、ガス管、電気幹線など)の確認、移設検討 ②搬入経路、クレーン設置スペースの確保、仮設鉄板の敷設の確認 ③居住者用仮設通路の有効スペース確保の検討 ④基礎部掘削残土処理方法の確認
-------	---

工事概要	(1) 工事条件 ・階段室前の地形、団地進入路から住棟までの外構条件に合わせた配置と設置方法、基礎の検討 (2) 事前調査 ・地盤調査 ・地中埋設物の調査 ・搬入経路の調査(周辺道路、団地内入口・敷地、電信柱など) ・クレーン設置スペースの調査 (3) 工事内容 ・仮設工事、既存住宅踊り場手摺(腰壁)解体工事、基礎工事、昇降路建物搬入建て方工事、連結通路接続工事、仕上げ工事、調整、検査 (4) 仮設・運搬・ストック ・仮設通路、仮囲い等により住民の安全確保を図る。 ・昇降路建物はトレーラー、その他小部品類は 4tトラックにて搬入、昇降路建物の建て方は 50ton クレーンにて行う (5) 標準工期 ・1棟あたり 5 基設置した場合、基礎工事～竣工まで約2ヶ月 (6) 工事騒音・振動対策 ・低騒音型重機、発電機、工具などの使用により騒音低減に配慮する (7) 動力/照明用電源 ・三相 200V 2.2kw 3kVA/単相 100V 1kVA (1基当たり、エレベーター乗り場出入口照明付きの場合は別途) (8) 設置のための関連工事としての検討事項 ・給排水管、ガス管、電気幹線などの移設 ・植栽、自転車置き場、団地内通路の移設 ・電気幹線、情報幹線の昇降路建物(制御盤)までの引き込みと接続 ・雨水集積槽までの接続工事
------	--

取扱企業	企業名 横浜エレベーター株式会社	部品型番 BLTN4-2S-30 BLTN4-2S-45
------	---------------------	------------------------------------

エレベーター	グループ分類 G3-2
部品名称	改修用部品分類 小規模共同住宅用エレベーター(単体)



ポイント	機械室を必要としない乗用ロープ式エレベーター	設置イメージ
特色	<p>■小規模共同住宅用エレベーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員4名、積載量320kg (※1) ・さまざまな建物に対応する省スペース設計 ・わかりやすい、使いやすいユニバーサルデザイン ・地球環境に配慮した省エネルギー <p>※1 一部企業は 310kg となります。</p>	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・昇降行程13m以下の小規模な共同住宅に設置し、独立した機械室を必要としない乗用ロープ式エレベーター 	

部品概要	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>かご</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>乗場</p> </div> </div>
------	--

部 品 仕 様	<p>■エレベーター基本仕様</p> <p>定格積載量・定員 320kg・4名 (※2)</p> <p>定格速度 45m/min (※3)</p> <p>ドア形式 2枚戸片開き</p> <p>出入口寸法 幅800mm×高さ2000mm</p> <p>かご内法 間口900mm×奥行1400mm (※4)</p> <p>駆動方式 トラクション式</p> <p>制御方式 インバーター制御方式</p> <p>操作方式 セレクチブコレクチブ</p> <p>停止箇所 5箇所以下(2方向出入り口がある場合は6箇所以下)</p> <p>※2 一部企業は310kgとなります。 ※3 一部企業は30mも有ります。 ※4 一部企業は奥行1375mmとなります。</p>
------------------	--

標 準 的 な 設 置 方 法	<p>部品搬入 ⇒ エレベーター機器取付 ⇒ 調整・検査</p>
--------------------------------------	----------------------------------

設 置 条 件 等	<ul style="list-style-type: none"> ・昇降路が築造されていること。 ・必要な昇降路平面・断面寸法が確保されていること。 ・別途工事 <ul style="list-style-type: none"> 防水・防火処理等(建築工事) 動力電源、照明電源等(電気工事)
工 事 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーター機器取付工事 ・かご、巻上機、制御盤等昇降路内機器取付 ・乗り場操作盤等機器取付 ・電源線、通信線配線接続

取 扱 企 業	<p>※上記の通り、企業により積載量、速度、寸法等の一部仕様が異なります。</p> <p>三精テクノロジーズ株式会社 日本オーチス・エレベータ株式会社</p> <p>株式会社日本ビルテクノス 株式会社日立ビルシステム</p> <p>フジテック株式会社 三菱電機株式会社</p>
------------------	---

エレベーター	グループ分類 G3-5
部品名称	改修用部品分類 マシンルームレス型エレベーター



ポイント	機械室を必要としない乗用ロープ式エレベーター	設置イメージ
特色	<p>■共同住宅用エレベーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員6名、積載量450kg／定員9名、積載量600kg／13名、積載量900kg (※1) ・さまざまな建物に対応する省スペース設計 ・わかりやすい、使いやすいユニバーサルデザイン ・地球環境に配慮した省エネルギー <p>※1 定員6名、13名は取扱のない企業もあります。 一部企業の定員13名の積載量は850kgになります。</p>	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・昇降行程60m以下の共同住宅に設置し、独立した機械室を必要としない乗用ロープ式エレベーター 	

部品概要	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>かご</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>乗場</p> </div> </div>
------	--

部品仕様	<p>■エレベーター基本仕様</p> <p>定格積載量・定員 450kg・6名／600kg・定員9名／900kg・13名 (※2)</p> <p>定格速度 45、60、90、105m/min (※3)</p> <p>ドア形式 2枚戸片開き</p> <p>出入口寸法 幅800mm×高さ2000mm (※4)</p> <p>かご内法 間口1050mm×奥行1150mm・・・定員6名 間口1050mm×奥行1520mm・・・定員9名 間口1050mm×奥行2000mm・・・定員13名</p> <p>駆動方式 トラクション式</p> <p>制御方式 インバーター制御方式</p> <p>操作方式 セレクトプコレクティブ</p> <p>昇降行程 最大60m</p> <p>※2 定員 6 名、13 名は取扱のない企業もあります。一部企業の定員 13 名の積載量は 850kg になります。 ※3 企業により定格速度の対象が異なります。 ※4 一部企業は幅 900 × 高さ 2100mm もあります。</p>
------	--

標準的な設置方法	<p>部品搬入 ⇒ エレベーター機器取付 ⇒ 調整・検査</p>
----------	----------------------------------

設置条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・昇降路が築造されていること。 ・必要な昇降路平面・断面寸法が確保されていること。 ・別途工事 <ul style="list-style-type: none"> 防水・防火処理等(建築工事) 動力電源、照明電源等(電気工事)
-------	---

工事概要	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーター機器取付工事 ・かご、巻上機、制御盤等昇降路内機器取付 ・乗り場操作盤等機器取付 ・電源線、通信線配線接続
------	---

取扱企業	<p>※上記の通り、企業により機種、積載量、速度、寸法等の一部仕様が異なります。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> <p>エス・イー・シーエレベーター株式会社</p> <p>クマリフト株式会社</p> <p>ダイコー株式会社</p> <p>東芝エレベータ株式会社</p> <p>日本オーチス・エレベータ株式会社</p> <p>株式会社日立ビルシステム</p> <p>三菱電機株式会社</p> <p>横浜エレベータ株式会社</p> </td> <td style="width: 50%; border: none;"> <p>株式会社エレベータシステムズ</p> <p>三精テクノロジーズ株式会社</p> <p>中央エレベーター工業株式会社</p> <p>日本エレベーター製造株式会社</p> <p>株式会社日本ビルテクノス</p> <p>フジテック株式会社,</p> <p>守谷輸送機工業株式会社,</p> </td> </tr> </table>	<p>エス・イー・シーエレベーター株式会社</p> <p>クマリフト株式会社</p> <p>ダイコー株式会社</p> <p>東芝エレベータ株式会社</p> <p>日本オーチス・エレベータ株式会社</p> <p>株式会社日立ビルシステム</p> <p>三菱電機株式会社</p> <p>横浜エレベータ株式会社</p>	<p>株式会社エレベータシステムズ</p> <p>三精テクノロジーズ株式会社</p> <p>中央エレベーター工業株式会社</p> <p>日本エレベーター製造株式会社</p> <p>株式会社日本ビルテクノス</p> <p>フジテック株式会社,</p> <p>守谷輸送機工業株式会社,</p>
<p>エス・イー・シーエレベーター株式会社</p> <p>クマリフト株式会社</p> <p>ダイコー株式会社</p> <p>東芝エレベータ株式会社</p> <p>日本オーチス・エレベータ株式会社</p> <p>株式会社日立ビルシステム</p> <p>三菱電機株式会社</p> <p>横浜エレベータ株式会社</p>	<p>株式会社エレベータシステムズ</p> <p>三精テクノロジーズ株式会社</p> <p>中央エレベーター工業株式会社</p> <p>日本エレベーター製造株式会社</p> <p>株式会社日本ビルテクノス</p> <p>フジテック株式会社,</p> <p>守谷輸送機工業株式会社,</p>		